

ブランド米生産支援システム「青天ナビ」



高品質米を安定して生産するためには、水田ごとに適切な栽培管理が必要です。そこで、青森県産業技術センターでは、衛星画像などの各種データを分析し、「青天の霹靂」の栽培に適した水田の選択・水田1枚ごとの収穫時期や施肥管理を自動でアドバイスするWebアプリを2019年に開発しました。

1 主な機能

(1) マップ画面

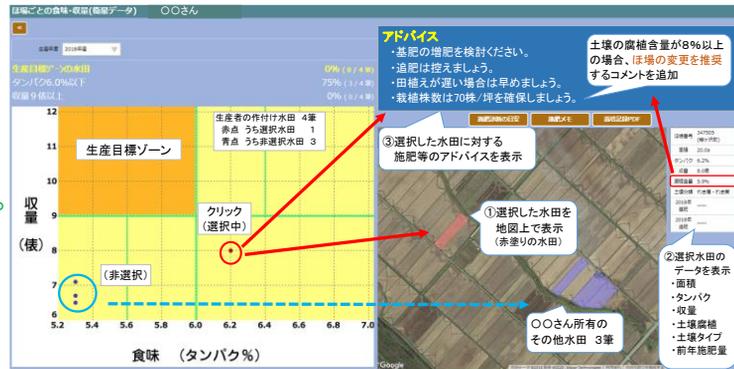
- 衛星画像等から判定した栽培管理に役立つ情報を地図（マップ）で表示します。
- 携帯端末で容易に閲覧できます。
＜利用できる情報＞
- ①収穫適期、②タンパク、③収量、④土壌の栄養程度、⑤土壌図など



マップの表示画面
(収穫適期マップ)

(2) 施肥管理のアドバイス画面

- 衛星データから判定した前年のタンパクと収量の状況から、その水田に合った施肥管理をアドバイスします。
- 土壌の肥沃度から「青天の霹靂」の栽培に適した水田をアドバイスします。



施肥管理のアドバイス画面

2 データ利用の体制

データを効率的に収集・利用する仕組みを産地全体で構築しました。

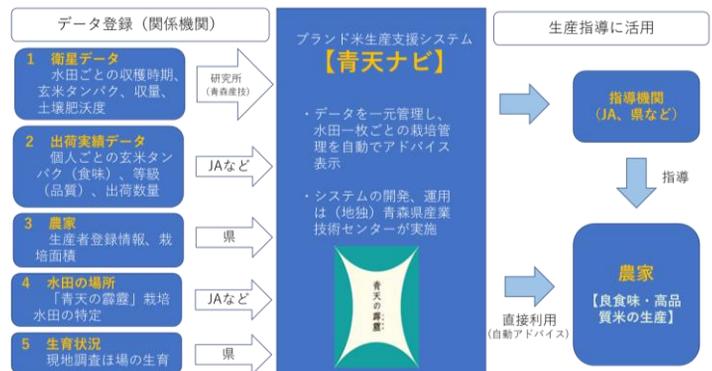
(1) 青天ナビへのデータ登録

関係機関が、所有又は得意とするデータを分担してクラウド上の青天ナビに登録し、データ収集を効率化しています。

(2) 青天ナビでのデータ利用

自動アドバイス機能※により、指導に必要なデータ分析などの労力が削減され、農家も直接情報を参考にできるようになりました。

※特許第7327791号



産地全体でのデータ利用の体制

